

指定管理者モニタリング及び実績評価シート（令和4年度）

1. 指定管理施設の概要

施設名	中央図書館 ほか3館		施設所在地	桶川市若宮一丁目5番2号 ほか3か所
施設の設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設（図書館法第二条）			
施設概要	○ 中央図書館（桶川メイン内） 床面積 1,511㎡ 鉄筋コンクリート造 一般開架・児童開架・お話し室・読書会室・対面朗読会室・事務室・更衣室兼倉庫等 ○ 桶川図書館（桶川公民館内） 床面積 532㎡ 鉄筋コンクリート造 一般開架・児童開架・書庫・事務室・更衣室兼倉庫等 ○ 川田図書館（生涯学習センター内） 床面積 238㎡ 鉄筋コンクリート造 成人開架・児童開架・書庫兼事務室等 ○ 坂田図書館（スマイルピアザ坂田内） 床面積 464㎡ 鉄筋コンクリート造 一般開架・児童開架・会議室兼グループ学習室・テラス等（事務室・倉庫・休憩室兼更衣室は共同利用）			
運営状況	利用時間	AM9:00～PM5:00 AM10:00～PM9:00（中央図書館のみ）	定休日等	月曜日（ただし、中央図書館及び坂田図書館を除く） 12月29日から翌年の1月3日までの日
	その他	特別整理期間		

2. 指定管理者の概要

指定管理者名（代表者）	丸善雄松堂・図書館流通センター共同事業体 代表構成員 丸善雄松堂株式会社 代表取締役 松尾 英介		指定管理者所在地	東京都港区海岸一丁目9番18号		
事業者の選定理由	平成27年度の改修に伴って大幅に利用者の増加した駅西口図書館を管理しており、利用者の意向調査などをもとに運営の改善を図るなど、再始動後の施設の適切、かつ、安定的な管理に努めているほか、同種業務に関する豊富な実績、組織体制などを高く評価した。また、市は図書館4館を連携・一括管理とすることで、さらに充実した図書館運営を目指そうとしていることに対し、具体的な人員配置や要員の育成、学校をはじめとする市内の他の公共施設との連携など、組織体制や事業についても具体的な提案があった。					
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5か年）		施設利用料金	料金区分	使用料/利用料金制	
施設所管課	生涯学習文化財課/生涯学習・スポーツ推進課（令和4年度～）			無料	無料	
指定管理の区分	選定方法	避難所指定	施設管理	自主事業	目的外使用許可	余剰金の取扱い
	公募	無し	無し	有り	無し	未執行の修繕・改修工事費用は返還
指定管理料	募集時上限額（年額：税抜）	157,407,408円		現年度協定額（年額：税抜）	154,545,455円	
指定管理者の主な業務	1. 窓口業務（開館準備、利用者登録及び利用者案内、資料の貸出・返却・配架、予約・リクエスト受付処理、予約確保及び予約確保連絡、未返却資料の返却督促、資料の弁償受付、複写機・OPAC・インターネット端末、自動貸出機等の管理及び利用案内、資料相互貸借に関する協定による図書館資料の配送準備、ブックポストの収集・管理、各館への配送、遺失物等管理、問い合わせ対応） 2. 資料管理業務（図書資料の受入、逐次刊行物の受入、寄贈資料の受付・受入、書架の管理、選書の補助、除籍資料の一時選定、資料の補修、資料のリサイクル及び廃棄、蔵書点検） 3. その他の業務（地域・児童・障害者サービス、企画展示、行事運営、ICT関連、読書会・実作サークルに係る業務）					

3. 利用状況（5か年）

貸出者数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	貸出冊数	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	実績（人）a	155,538	111,324	141,179	134,964			実績（冊）a	475,033	354,557	455,494
目標値（人）b	155,000	155,000	155,000	155,000	155,000	目標値（冊）b	496,000	496,000	496,000	496,000	496,000
達成率（a/b）	100.35%	71.82%	91.08%	87.07%		達成率（a/b）	95.77%	71.48%	91.83%	87.82%	
前年比	---	71.57%	126.82%	95.60%		前年比	---	74.64%	128.47%	95.63%	

4. 指定管理者収支状況（5か年）

収入（千円）	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	支出（千円）	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
指定管理料	168,686	170,241	170,000	170,000		指定事業費	167,686	169,822	169,531	169,555	
使用料	0	0	0	0		自主事業費	0	0	0	0	
自主事業収入	0	0	0	0		市への戻入額	1,000	419	469	445	
収入計	168,686	170,241	170,000	170,000		支出計	168,686	170,241	170,000	170,000	

5. 年次特殊事情等

特殊事情等 ※臨時休館等	1. 【図書館システム関連による休館等】 ・4月11日～4月13日システムメンテナンス 全館 ・6月30日システムメンテナンス 中央図書館（10時～17時までの短時間開館） ・11月16日～11月30日システム変更 全館 2. 【生涯学習センター改修による休館】 ・7月1日～次年度まで改修中 川田図書館 ・「蔵書点検による休館」 ・7月12日～7月13日 川田図書館 ・10月18日～10月21日 桶川図書館 ・2月7日～2月10日 中央図書館 ・2月14日～2月17日 坂田図書館	年間開館日数 中央図書館…337日 桶川図書館…293日 川田図書館…76日 坂田図書館…337日
設備投資修繕等 ※備品購入含む	8月・12月・3月：中央図書館館内LED照明器具修繕、2月：坂田図書館シュレッター修繕 3月：中央図書館書籍除菌機修繕、3月：桶川図書館窓枠網戸修繕	

6. 評価結果

評価結果 (1) 履行確認 (2) 質・効果・達成度	評価項目	(1) 履行確認 (適・否評価)	(2) 質・効果・達成度 加点/減点(±1)	
	1. 企業倫理	適	---	
	2. 施設の維持管理	適	---	
	3. 指定管理者の義務	適	---	
	4. 施設の運営	適	0	
	5. 社会性・環境性	適	0	
	6. 事業の実施	適	0	
	7. 事業収支	---	0	
	8. 総合面	---	0	
総合評価	評価の定義	総合評価ランクの点数基準		総合評価ランク
	要求水準を満たしており、適正である。	(1) 履行確認「全適」+ (2) 質・効果・達成度「減点なし」かつ「加点なし」		
評価理由及び次年度要望事項（選定委員会）	施設の管理・運営について、要求水準を満たしている。コロナ禍前に行っていた事業を再開させたり、新規企画事業も行ったりと、多くの事業を積極的に実施している。また、1日あたりの利用者数も増加しており、利用者満足度も高い点は評価できる。今後も、利用者ニーズの把握に努め、多くの方が利用しやすい施設運営を行うよう要望する。			B

7. モニタリング (基本項目チェック)				※実施の確認 (実施・・・「○」、未実施・・・「×」、機会無し・・・「-」)					
大項目	中項目	個別評価項目	評価指標 (判断基準)	修繕費	任職者	協定書	事業計画	適否	総合評価
1. 企業倫理	個人情報保護	個人情報の保護	・個人情報の保護への対応	✓	✓			○	適
		守秘義務の遵守	・秘密の保持			✓		○	
	情報セキュリティ	セキュリティポリシーの遵守	・情報セキュリティポリシーの遵守			✓		○	
		職員研修	・従業員に対する適切な研修の実施 / 利益供与の禁止			✓		○	
	法令順守	情報公開対応	・情報公開への適正な対応			✓		○	
		関係法令の遵守	・関係法令の遵守			✓		○	
2. 施設の維持管理	安全管理	警備業務	・警備業務の適正な実施			✓		○	適
		避難訓練の実施	・避難訓練等の定期的な実施			✓		○	
	維持管理	施設の運転管理	・施設の適正な運転管理の実施			✓		○	
		施設の修繕	・必要な施設修繕の適正な実施			✓		○	
	保守点検	植栽管理	・植栽管理の適正な実施 (令和3年度より造花に変更)			✓		○	
		清掃業務	・適正な清掃の実施			✓		○	
3. 指定管理者の義務	調査・協議	アンケート等の実施	・アンケート等の実施 / 利用者満足度調査			✓		○	適
		市との協議	・市との協議の実施			✓		○	
	適正管理	市の指示への対応	・市からの指示・協議事項への理解と対応			✓		○	
		備品の管理	・適正な備品管理 / 備品台帳の整備			✓		○	
	報告	文書の管理・保存	・適正文書の管理・保存 / 管理規程の作成			✓		○	
		事業計画書の提出	・事業計画書等の作成及び提出			✓		○	
保険加入	事業報告書の提出	・事業報告書等の書類の提出及び報告等の実施			✓		○		
	実績報告書の提出	・実績報告書等の提出			✓		○		
4. 施設の運営 ※評価項目あり	危機対策	火災保険の加入	・火災保険等の加入			✓		○	適
		損害保険の加入	・損害賠償に対応した適正な保険への加入			✓		○	
	収支管理	災害時対策	・適切な災害対策の実施 / 危機管理マニュアルの整備			✓		○	
		会計管理	・指定管理業務会計の適正管理 (区分管理) / 別口座の開設			✓		○	
	人員配置	余剰金の還元	・提案された還元方法の遵守			✓		○	
		適正な人員配置	・適正な人員配置			✓		○	
窓口業務	統括責任者の配置	・適正な統括責任者の配置			✓		○		
	防火管理者の配置	・適正な防火管理者の配置			✓		○		
5. 社会性・環境性 ※評価項目あり	利用者への配慮	窓口業務	・窓口業務の適正実施 / 利用許可			✓		○	適
		職員の接遇	・0			✓		○	
	環境対応	施設の適正管理	・利用時間等の変更・休館等の適正実施 / 市との協議の実施			✓		○	
		資料の適正管理	・書架の管理 / 資料の管理			✓		○	
	雇用体制	障害者等への配慮	・高齢者、障害者等への配慮			✓		○	
		利用の公平性	・市民利用にあつての公平な運営			✓		○	
地域貢献	省エネルギー対応	・省エネルギーに配慮した調達			✓		○		
	適正な廃棄処理	・廃棄物の処理及びリサイクル等の適正実施			✓		○		
6. 事業の実施 ※評価項目あり	継続雇用	継続雇用	・既存職員の継続雇用への対応			✓		○	適
		障害者雇用	・障害者雇用への対応			✓		○	
	労働環境	施設の設置目的	・施設の設置目的に基づく管理運営の実施			✓		○	
		市内中小企業者への配慮	・市内中小企業者への発注等の配慮			✓		○	
	自主事業	障害者団体への配慮	・障害者団体への発注等の配慮			✓		○	
		雇用待遇	・良好な雇用待遇の確保 / 福利厚生・給与			✓		○	
指定事業	職場の安全衛生	・職場の安全衛生の確保 / 労働災害予防・健康被害予防			✓		○		
	施設の目的に沿った事業	・施設の目的達成のため市が指定した事業の実施			✓		○		
事業収入	市長承認自主事業	・市長の承認を受け自ら実施を決めた事業の実施			✓		○		
	募集時提案事業	・募集時に提案のあった事業の実施			✓		○		
継続事業 (前年度実施事業)	継続事業 (前年度実施事業)	・前年度の継続事業で市が指定する事業の実施			✓		○		

8. モニタリング評価 (質・効率・適)					
区分 No	大項目	評価項目	自己評価 (指定管理者コメント)	市側一次評価 (施設所管課コメント)	一次評価 確定評価
No. 4 ※履行項目と重複	施設の運営	利用者数/苦情対応/接遇/利用しやすさ/清潔さ/その他	今年度で特筆すべきは、図書館システムの変更にあたり、3週間の短期間で機器操作や業務連携の仕方を習得し、新システムの運用開始後も大きなトラブルを発生することなく対応ができたことが挙げられる。同時に、カウンター業務の効率化を図り、また、書架の差し込み板の増設や大分類の見出しの設置など、利用者目線の改善にも努力した。利用者アンケートでは、桶川市図書館全体では90.2%の高い利用満足度を得た。 利用者数については、図書館システムの変更と川田図書館の改修による臨時休館の影響で数は減少したが、開館日数で1日あたりの利用者数を算出すると、前年度は108人、今年度は129人と増加傾向にある。 クレームについては速やかに所管課へ連絡し、対応を相談した結果を全館で即座に情報共有しながら、影響が広がらないように心がけた。 新型コロナウイルス第7波、第8波にも適切に対応し、クラスターを発生することなく感染防止に努めた。	システム変更休館中は、臨時で新聞閲覧サービスを実施したが、新規システム導入業務で多忙の中、人員を配置し、利用者のニーズに応じて業務を行っていた。 1日あたりの利用者数は昨年より増加しており、利用者アンケートでの図書館に対する満足度も90%以上であった。これは利用者目線のサービスの提供が提供できた成果であると評価できる。 また、関連したクレームにも迅速に対応・報告を行っていた。要望に対しては可能な範囲で柔軟に対応し、利用者が館内で快適に過ごせるように工夫・配慮が充分行われていた。	(0) 0
No. 5 ※履行項目と重複	社会性・環境性	市内業者への配慮/障害者団体への配慮/継続雇用/障害者雇用/雇用待遇/その他	印刷発注、雑誌・消耗品の購入、修繕の作業業者について、引き続き市内業者を最優先して行った。 障害者への対応は、ボランティア団体と連携し、対面相談サービスの申込方法の変更と周知方法の改善を行った。その他、子ども向けバリアフリー資料コーナー「りるこ」の布絵本の製作、点訳本の設置等で配慮に努めた。 継続雇用・待遇面では、地域最低賃金アップへの対応を行い、キャリアパスとしては内部から3名の責任者任用ができた。障害認定者も1名採用した。	障害者の図書館利用促進の為に、利用しやすいように案内について再検討を行い、誰でも手に取りやすいように多様な資料の収集・製作に努めていた。 雇用に関しては、スタッフのモチベーションが向上するよう、体制を整備できていた。	(0) 0
No. 6 ※履行項目と重複	事業の実施	事業の実施数/参加人数/参加率/企画内容/利用者ニーズへの対応/その他	実施した事業数は、前年度の9件から18件と大幅に増加した。特にコロナ禍前に行っていた事業の再開 (小中学生によるおはなし会) と、新規企画事業 (調べる学習コンクール保護者向け支援講座) が好評であった。 さらに、公民館やhonプラス、坂田コミュニティセンターと積極的に連携し、講座 (教育・文化・歴史) やワークショップを開催し、システム変更休館中は新聞閲覧サービスを実施した。その際に各所で川田図書館スタッフが精力的に業務を行った。 事業への参加率は、全体的に申込が定員に達し、2年ぶりに市民の笑顔や喜びの声が直接聞ける機会が増え、充実した内容となった。	他機関との連携を重視しながら、独自の新規事業も展開し、利用者にとって魅力的な企画を提案し、ニーズに応えられるよう取り組んでいた。	(0) 0
No. 7	事業収入	経費削減の効果/経費削減の取組/収入増への取組/その他	継続中の新型コロナ対策の消耗品費用に加え、年度中に急騰した事務用品代削減への配慮を行った。各館で月度別予算消化状況を見える化した「予算実績管理表」をもとに全体で抑制の努力をして予算内で抑えることができた。 活動面では、返却期限の事前通知メールの活用や督促電話業務の強化により、督促状郵便代とプリント代金の削減につなげた。また、一部の外部委託費用の見直しや読書アルバムシール、レシートロール、印刷機のインク、マスター価格の見直しなどで購入価格の低減を図る対策をした。急騰した電気代については、可能な限りこまめな消灯で節電に努力した。 人件費については、時間の有効活用を念頭に時間外労働を最低限に抑えた。	常に業務内容の見直しを行い、前年度に引き続き、コスト削減の為に対策を講じ、一定の成果が出たことは評価に値する。	(0) 0
No. 8	総合面	施設設置目的の実現/その他	地域教養及び郷土文化の普及振興を図る活動として「図書館を使った調べる学習コンクール」と、「桶川歴史講座」を行った。コンクールについては保護者向け支援講座を企画した結果、昨年度より作品の完成度が高まり、全国コンクールでも「奨励賞」を受賞できた。その他、読書感想文書き方教室、公民館主催のセミナー支援と講座への協賛など、新規での活動を活性化させた。 「俳句ポスト」事業では、応募数が昨年度525句から572句 (9%増) と3年連続で増え、全国で特選を3件受賞するなど、文化振興にも貢献できた。 日常の図書館の展示においても、公平性を保つため、幅広い年齢層と偏りのないジャンルの選書を心がけた。	子どもの読書活動推進を目的とした事業、郷土の歴史を回顧できる企画や展示の実施など、利用者のサービスの向上に努めており、仕様書に定める「施設目標」を達成する為の取り組みは評価できる。	(0) 0